

米国アカデミー賞公認 アジア最大級の国際短編映画祭
 ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2015

特別賞受賞作品 『夢の浮世に咲いてみな』 ももいろクローバーZとKISSから受賞の喜びの声が到着 本日よりSSFF & ASIA 2015オフィシャルサイトにて動画公開

俳優の別所哲也が代表をつとめる米国アカデミー賞公認、アジア最大級の国際短編映画祭ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2015 (SSFF & ASIA)が、「ショートフィルムの日」(日本記念日協会認定)の6月4日(木)から開催となります。

今回、ショートフィルムを通じて、メディアや映像業界に特別な貢献をされた作品・人物に贈られる「特別賞」を、異色のコラボレーションで話題となった、ももいろクローバーZ vs KISS『夢の浮世に咲いてみな』が受賞しました。親日家としても知られるKISSのメンバーが浮世絵に興味を持ちそれぞれの自画像を浮世絵で展開するなどしている中、偶然にも、ももクロの楽曲が浮世絵をテーマにしていたことから実現したコラボレーション。ミュージックビデオが発表されるや否や、海外のKISSファンからも大反響を呼びました。日本の伝統文化を接点に、アメリカのロックバンドと日本のアイドルが奇跡的に出会い共鳴し、世界を繋いだこの作品は、映像がもつ可能性を示してくれる画期的な作品と言えます。

この受賞をうけて、ももいろクローバーZとKISSから喜びのコメントが到着しました。メッセージ動画は本日より、SSFF & ASIA 2015オフィシャルサイトにて公開しています。http://www.shortshorts.org/2015/ja/competition_award/award.php



<ももいろクローバーZ コメント>

この作品は、あの伝説的ロックバンド KISSさんとコラボレーションさせていただいた曲で、私たちとKISSさんとのバトルがアニメの世界から浮世絵の世界で繰り広げられる、とても気合いの入った作品になっています。海外でもこうして日本文化を発信することができてとてもうれしいです。KISSさんも多分(この受賞を)喜んでと思います(笑)。KISSさんとのコラボレーションで私たちの世界感もより広くなったと思います。今後も色々々と挑戦していければうれしいです。

<KISS コメント>

ようみんな！ショートショートフィルムフェスティバル&アジアでの受賞、まじでありがとよ！そしてももクロとのコラボも誇りに思っている。我々の知らなかった日本の文化、例えば「浮世絵」についても知ったし、それをロックと融合して特別なものを作った。それがナンバーワンソングにもなり、すごいミュージックビデオも作った。参加してくれたみんなに感謝だよ。浮世絵は最高だ。参加するすべてのフィルムメイカーに幸運を祈る。東京で映画祭をエンジョイしてくれ！

SSFF & ASIA 2015オフィシャルサイト <http://www.shortshorts.org/>

【本発表に関するお問い合わせ先】

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア事務局(ユース・プランニング センター内)
 担当: 白岩(070-6469-1245)・音部(090-2316-7879) TEL: 03-3486-0575 / FAX: 03-3499-0958
 e-mail: ssffasia2015@yppcr.com

【ショートショート フィルムフェスティバル & アジアに関するお問い合わせ先】

ショートショート アジア実行委員会 担当: 高橋(090-3049-1284) 加賀矢間
 TEL: 03-5474-8203 / FAX: 03-5474-8202 e-mail: press@shortshorts.org

【ショートショートフィルムフェスティバル & アジア 2015 概要】 ※下記内容は変更の可能性がございます。

■各会場における開催期間

<東京会場>

| | |
|------------------------------|-----------------------------------|
| 表参道ヒルズ スペース オー | 6月4日(木) オープニングセレモニー |
| | 6月5日(金)～6月7日(日) |
| シダックス・カルチャーホール | 6月5日(金)～6月7日(日)、6月11日(木)～6月14日(日) |
| アンダーズ 東京 アンダーズ スタジオ | 6月8日(月)～6月12日(金) |
| ラフォーレミュージアム原宿 | 6月11日(木)～6月14日(日) |
| iTSCOM STUDIO & HALL 二子玉川ライズ | 6月12日(金)～6月14日(日) |
| 渋谷ヒカリエ ヒカリエホールA | 6月15日(月) アワードセレモニー(授賞式) |

<横浜会場>

| | |
|--------------------|-------------------------|
| ブリリア ショートショート シアター | 6月5日(金)～6月14日(日) (横浜開催) |
|--------------------|-------------------------|

※上映期間は6月4日(木)～6月14日(日)です。

※上映会場は(渋谷ヒカリエを除く)東京5会場、横浜1会場となります。

※オープニングセレモニー、アワードセレモニーは一般の方は参加できません。

| | | 表参道ヒルズ スペース オー | シダックス・カル チャーホール | アンダーズ 東京 Andaz Studio | ラフォーレ ミュージアム原宿 | iTSCOM STUDIO & HALL 二子玉川ライズ | ブリリア ショートショート シアター | 渋谷ヒカリエ ヒカリエホールA |
|-------|---|----------------------|--------------------|--------------------------|-------------------|---------------------------------|--------------------------|-----------------------------|
| 6月4日 | 木 | ★ オープニング セレモニー | | | | | | |
| 6月5日 | 金 | ● | ● | | | | ● | |
| 6月6日 | 土 | ● | ● | | | | ● | |
| 6月7日 | 日 | ● | ● | | | | ● | |
| 6月8日 | 月 | | | ● | | | ● | |
| 6月9日 | 火 | | | ● | | | ● | |
| 6月10日 | 水 | | | ● | | | ● | |
| 6月11日 | 木 | | ● | ● | ● | | ● | |
| 6月12日 | 金 | | ● | ● | ● | ● | ● | |
| 6月13日 | 土 | | ● | | ● | ● | ● | |
| 6月14日 | 日 | | ● | | ● | ● | ● | |
| 6月15日 | 月 | | | | | | | ★ アワード セレモニー (授賞式) |

■一部の有料イベントを除き、東京会場、横浜会場ともに無料上映となります。

※事前予約はオフィシャルサイトから登録が可能です。

※上映プログラム・イベントは決定次第、順次オフィシャルサイトにアップします。

■東京会場限定 スペシャルパスポート

4,000 円(映画祭オリジナルグッズ付)

下記東京3会場の有料イベント以外の全てのプログラムを事前予約・回数制限なくご覧いただけます。

(表参道ヒルズ スペース オー、ラフォーレミュージアム原宿、iTSCOM STUDIO & HALL 二子玉川ライズ) チケット販売はオンラインにて受け付けます。詳細は映画祭オフィシャルサイトをご確認ください。

※キャンセルによる払い戻しの手数料はお客様負担になりますので、予めご了承ください。

■ショートショートフィルムフェスティバル & アジアについて

米国アカデミー賞公認、日本発・アジア最大級の国際短編映画祭。新しい映像ジャンルとして「ショートフィルム」を日本に紹介するため、米国俳優協会(SAG)の会員でもある俳優の別所哲也が、創立者として1999年に東京・原宿で誕生。初年度は映画『スターウォーズ』で有名なジョージ・ルーカス監督の学生時代のショートフィルムも6作品上映し、その後も毎年応援を頂いています。2001年には「ショートショート フィルムフェスティバル(SSFF)」と名称を改め、2004年には米国アカデミー賞公認映画祭として認定されました。これにより、映画祭のグランプリ作品が、次年度のアカデミー賞短編部門のノミネート選考に入ることになり、日本からオスカー像を手にする若手が出現する可能性への架け橋ができました。

また、アジア発の新しい映像文化の発信・新進若手映像作家の育成目的から同年に誕生した「ショートショート フィルムフェスティバル アジア(SSFF AISA 共催:東京都)」が誕生し、現在、この2つの映画祭が“SSFF & ASIA”として開催されています。上映内容は、オフィシャルコンペティションをはじめ、「音楽」「環境」「CGアニメーション」など、様々なカテゴリーのプログラムで構成されています。2008年には、横浜みなとみらいにショートフィルム専門映画館、ブリリア ショートショートシアターを設立。映画祭としてはこれまでに延べ28万人を動員。日本にショートフィルムを啓蒙する役割を果たすべくその活動領域を広げるとともに、世界に羽ばたく若きクリエイターを本映画祭は応援していきます。